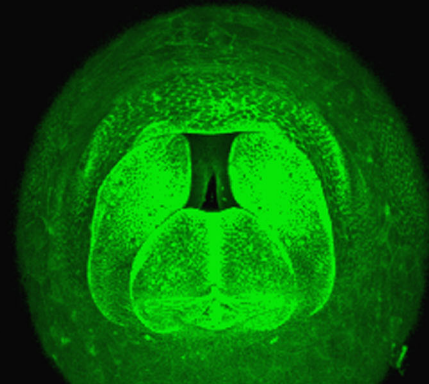
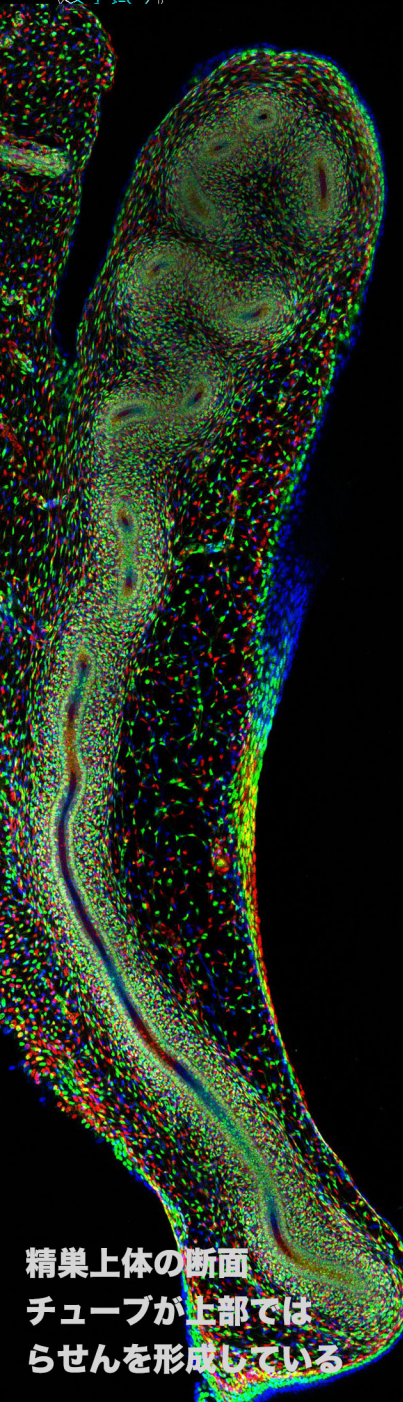


チューブを構成している細胞が斜めに分裂するとねじれを形成する  
(コンピュータシミュレーションの結果)



ハエのさなぎオスの  
外生殖器(中央部分)が  
時計回りに一回転する



精巣上体の断面  
チューブが上部では  
らせんを形成している

## 第79回 形の科学シンポジウム メインテーマ

### 生物に見られるねじれ構造

招待講演 (6/13午後13:30-15:30)

#### 伸びてねじれる精巣上体細管のかたち作り

平島剛志 (京都大学)

#### 時計回りの器官形成を支える細胞の 左右非対称性

倉永英里奈 (理化学研究所)

一般テーマの招待講演 (6/13午前10:30-12:00)

#### 象の脚と蟻の脚 (スケール則から見る形の力学)

菊池耕生 (千葉工業大学)

#### 分子の形と進化 (形は生き残る)

河合剛太 (千葉工業大学)

この他多数の一般講演・展示があります

会期 2015. 6/12(金)~6/14(日)

(6/13招待講演4件は無料公開)

千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館4階 7405教室

【主催】 形の科学会

【共催】 千葉工業大学

【世話人】 本多久夫(神戸大学)・手嶋吉法(千葉工業大学)

問合せ先 [yoshinori.teshima@it-chiba.ac.jp](mailto:yoshinori.teshima@it-chiba.ac.jp)

シンポジウム詳細情報

<http://katachi-jp.com/sympo79>